

遷延性意識障害者家族の会九州「つくし」10周年記念講演会 学ぼう、重度障害者が知っておくべき制度

【講師プロフィール】

池田 顕吾氏 広島大学大学院学校教育学研究科修士課程修了、教育学修士
臨床心理士、公認心理師、自閉スペクトラム支援士
知的障がい者の入所施設、通所施設での生活支援後平成17年より相談支援事業に従事
東区第1障がい者基幹相談支援センターセンター長・福岡市相談支援機能強化専門員

國光 力氏 相談支援専門員、作業療法士
平成18年4月～平成20年3月 総合病院勤務
平成20年4月～平成26年9月 回復期リハビリテーション病院勤務
平成26年10月～ 虹の家勤務

中島 大輔氏 相談支援専門員、理学療法士

内田 まゆみ氏 遷延性意識障害者家族の会九州つくし家族会員
共働きしながら10年間息子さんの在宅介護を続けている

遷延性意識障害者・家族の会 九州「つくし」について

私たちは、ある日突然不慮の事故や病気により脳に重大な損傷を受け、一命は取り留めたものの意識障害が遷延している(続いている)遷延性意識障害者とその家族の会です。遷延性意識障害者は、自力で動くことも、食べることも、話すことも、呼びかけに応じることもできない、最重度の障害者です。

家族は、当事者の病状や障害について大きな不安を抱えながら、転院先、リハビリテーションの制限、デイサービス・ショートステイの受け入れ制限など、医療・介護、制度上の様々な問題に直面し、将来への不安に苛まれています。そして24時間在宅介護で孤立状態にある家族、不安や疑問を相談できずに苦しんでいる家族も少なくありません。

そこで私たちは、2015年4月遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」を発足しました。「つくし」のように、厳しい冬から明るい春に向かって少しずつでも伸びていけるように、助け合い、学び、一般の方々にもこの障害について理解してもらえるよう情報発信し、行政に働きかけ、当事者とその家族が安心して暮らせる社会を求めて活動しています。

多くの方々のお力添えを、心よりお願い申し上げます。

参加申込書(FAX:092-526-0616) (E-mail: kyusyu.ishiki@gmail.com)

▶参加ご希望の方は、FAXあるいはメールにてお申し込み下さい

(該当する物に○をつけて下さい)

会 員 (家族会員、賛助会員、ボランティア会員)、一 般 (当事者・家族、 その他)

会場参加 ・ Zoom参加

懇親会参加 : 有 ・ 無

フリガナ	所属 (医療・介護・福祉関係・行政など)
お名前	電話番号
ご住所 〒	FAX
	E-mail